



未来をひらき、たくましく生きるみどり台小学校の子ども



翠



風



みどり台小学校
公式キャラクター
「フレンジー」



千歳市立みどり台小学校 学校だより 令和6年4月30日 No.3

みどり台小のホームページはこちら ↑

「当たり前前」のことを「当たり前」に！

校長 渡辺 弘行

令和6年度がスタートして1か月が経とうとしています。新学期、元気いっぱいの子どもたちを見ると、ホッとすると同時に嬉しくなります。始業式では、私から子どもたちに次のように話をしました。



みどり台小のみなさん方が「当たり前前」のことが「当たり前」にできる」ようにするために、これからお話しする三つのことを意識して毎日を過ごしてください。

1つ目は、「すてきなあいさつをすること」です。

あいさつは、人と人がなかよくなるための第一歩です。昨年度もすばらしいあいさつをする人がたくさんいました。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と、自分から言えるようになると、あいさつのレベルが上がり、すばらしいです。みんながそうすることで、素敵なあいさつが響き合う学校になります。

2つ目は、「よく考えること」です。

新しい学年や学級、新しい友達、新しい先生など、新しい中での生活がスタートしました。みなさん一人ひとりが、勉強がよくなるように一生懸命に考えたり、友達や相手のことを思いやりをもって考えてあげたりできるようになってほしいです。すると、みどり台小学校が今よりもっと楽しく素敵な学校になります。

3つ目は、「チャレンジすること」です。

いろいろなことにチャレンジしていきましょう。失敗したらどうしようと心配するのではなく、まず自分でやってみようという気持ちが大切です。やってみないと先に進みません。心配や不安なこともあるかもしれませんが、先生方はみなさんのがんばりを応援しています。自分から進んでチャレンジすることになることで、みどり台小学校がもっともっと元気いっぱいの学校になります。

「あいさつ」「考える」「チャレンジ」この三つのことが当たり前前」にできるようになったとき、みどり台小学校は、もっともっと素晴らしい学校になっています。この三つを意識して、当たり前前」のことが「当たり前」にできるようになっていきましょう。



先日、「みどり台広場」で児童会役員認証式を行いました。一人ずつ認証状を渡しましたが、どの子もやる気に満ちており、今後の活躍が期待されます。6年生を中心に、みどり台小をもっと良くするために、がんばって活動してほしいです。

さて「凡事徹底」とよく言いますが、今年度は、上にあるように「あいさつ」「考える」「チャレンジ」の三つを徹底し、きちんとできるようにすることで、『みどり台スタイル』（みどり台小の当たり前前）として確立を図っていきます。保護者・地域の皆様のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。



